**保護者面談　チェックシート**

保護者は、子どもの成長を願い、保育者と一緒に取り組むパートナーです。

このチェックシートを活用し、保護者とのあたたかい信頼関係を土台とした面談を心がけましょう。

□　普段から保護者とよい関係を結んでおきましょう。家庭での様子を知っておきましょう。

□　保護者の背景にある困難さや抱えている現状を想像しましょう。

（例　状態に気づいていない、受け入れがたい、経済面、多忙すぎる、保護者等の健康問題、家族間の育児方針の違い等）

□　園での問題の解決ではなく、子どもが抱えている困難さの解決が、目的であることを伝えるようにしましょう。

□　面談が原則。ただし、電話連絡もやりとりのひとつです。

□　時間や場所、人数（複数対応、多すぎＮＧ）、プライバシーに配慮しましょう。

□　来園されたことへの感謝を述べましょう。

□　まずは保護者の話をよく聞きましょう。思いを受け止めましょう。

□　子どものよいところの情報を盛り込みながら、気になるところについて、具体的な話を心がけましょう。

□　伝えたことがすべて理解されているとは限りません。受け止め方の違いを想定し、資料を見せるなど説明表現を工夫して、わかりやすく伝えましょう。

□　園で取り組んできた支援や、今後考えている取り組み等についても伝え、保護者が希望をもてるような前向きな内容となるように心がけましょう。

□　保護者自身に支援が必要な場合には、面談のみですべての解決を目指すのではなく、地域資源（相談機関、保健福祉関係課など）の活用について上司と検討しましょう。

参考：文部科学省.H22「生徒指導提要」